



LIXIL 床材(捨て張り工法) ラシッサ Dフロア(455幅広) 施工説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

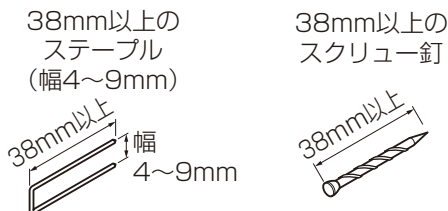
保管・施工前のお願い

- 取付け後の不具合は免責となるため、開梱時に必ず検品をしてください。不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 一般住宅屋内用床のため、以下の場所には使用できません。(頻繁に水ぬれする、極端に湿度が高い)
- 不具合となるため、以下の施工時は各メーカーの注意事項を守ってください。(二重床下地、床暖房パネルの施工)
- 反り・曲がりとなるため、立てかけ状態で保管しないでください。
- 施工不良となるため、指定の釘、接着剤を用意してください。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	下地合板の含水率14%以下でしたか？	<input type="checkbox"/>
2	開梱は施工直前にしましたか？	<input type="checkbox"/>
3	目地をずらして割り付けしましたか？	<input type="checkbox"/>
4	接着剤、タッカーは指定位置と量で体重をかけて施工しましたか？	<input type="checkbox"/>
5	床暖房の場合、釘打ち禁止部分を避けて釘打ちしましたか？	<input type="checkbox"/>

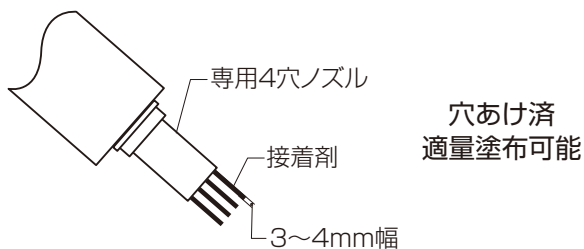
<指定の釘について>



<指定接着剤について>

接着剤	品番	使用量の目安
LIXIL専用ウレタン接着剤	LZZZZ036	1.5坪/本
コニシ製接着剤	KU928-CX	1.5坪/本

●専用品4穴ノズル



濡れた下地に
施工しない!
含水率14%以下

開梱は
施工直前に!

接着剤塗布箇所
釘固定箇所は
守って!

このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

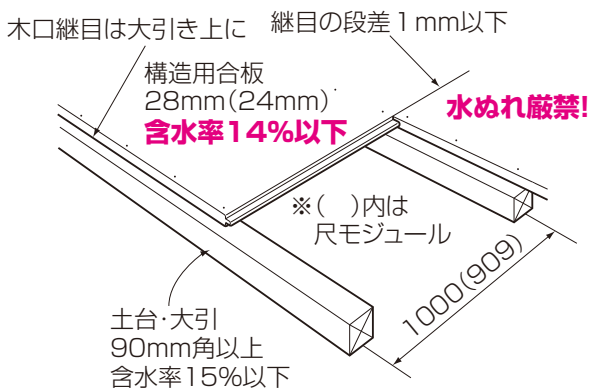
1 -① 下地の施工

下地施工上のお願い

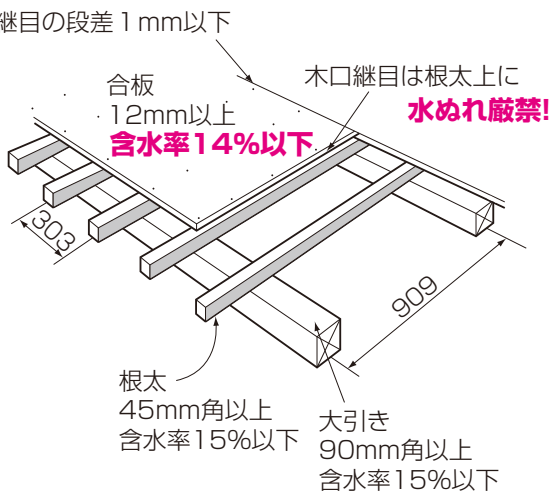
- 木造合板捨て張り下地専用の床のため、以下には直接施工できません。(根太組み、コンクリート下地)
- 波打ち、膨れとなるため、下地合板は含水率14%以下のものを使用してください。
- ※下地が水ぬれした場合は、含水率を14%以下にしてください。

①下図を参照して下地を施工してください。

<根太レス工法の場合>



<在来工法の場合>



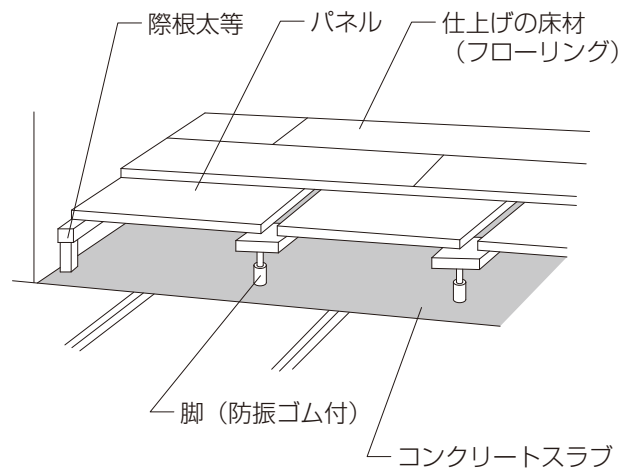
1 -② コンクリート下地に床下地組みする場合

コンクリート下地施工上のお願い

- 床材の膨れ、変色、突上げ、裏面のカビとなるため、以下を守ってください。
- ・コンクリート下地は、含水率を10%以下に乾燥させてください。

- ①コンクリート下地を乾燥させてから床材を施工してください。
- <乾燥の目安：含水率10%以下>
- ・コンクリート面をポリシートで1日以上密閉して、変色しない状態にしてください。
 - ※コンクリート床下に暖房システム(埋設型など)を組み込む際はご注意ください。

<施工例>



床材の施工

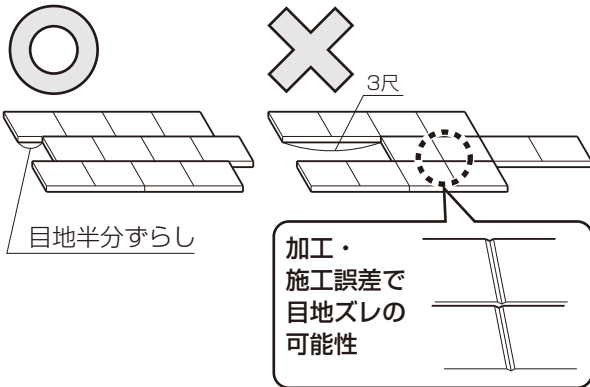
床材施工上のお願い

- 湿度の影響をうけ、反り・曲がりとなるため、開梱は施工直前に行ってください。
- 床材の突上げや膨れとなるため、以下を守ってください。
 - ・指定の接着剤、タッカーを指定位置と量で施工してください。
 - ・釘打ちの際は、床材の上に乗って下地に密着させてください。
- 目地の見栄えを良くするため、目地をずらして割り付けしてください。
- 施工不良となるため、釘打ち機はトルク調整し試し打ちしてから施工してください。
- 外観不良となるため、はみ出した接着剤は、すぐにベンジン等でふき取ってください。

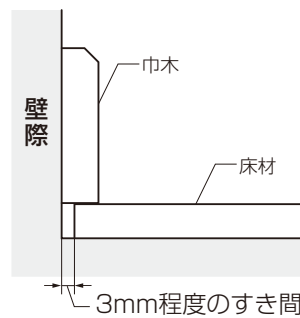
- ①目地をずらして割り付けしてください。
※目地半分ずらしがおすすめです。
- ②接着剤を指定個所・量塗布してください。
- ③あて木をして叩き込み、さねをはめ込んでください。
- ④床材に乗り体重をかけて下地に密着させてください。
- ⑤指定の個所に釘打ちをしてください。

●床施工時のポイント

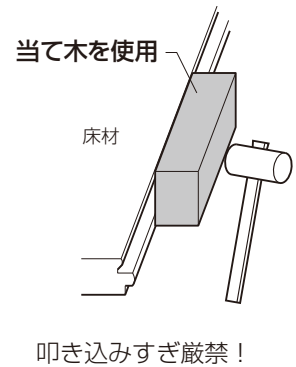
・張合わせ



・壁際の仕上げ

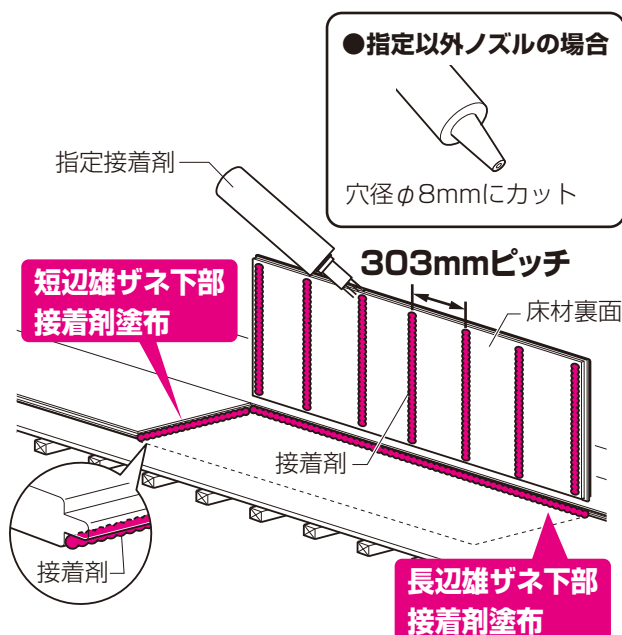


・床のはめこみ

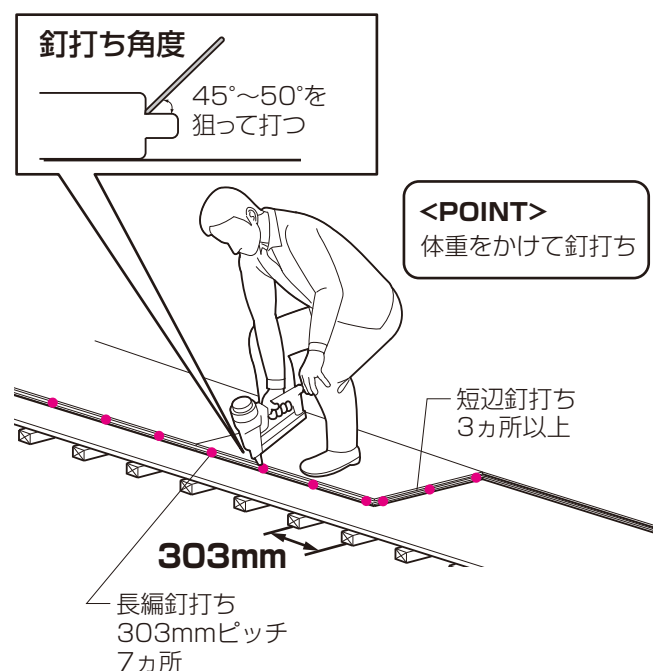


●床材の固定(接着剤+釘打ち)

・接着剤塗布



・釘打ち固定



※床暖房仕上げ材の施工を行う際の注意事項はP.4 3を参照

3 床暖房仕上げ材の施工

床暖房仕上げ材の施工上のお願い

●床暖房が故障するため、釘打ち禁止部分に釘打ちしないでください。

①床材の継ぎ目(短辺方向)は小根太にくるように寸法出しをしてください。

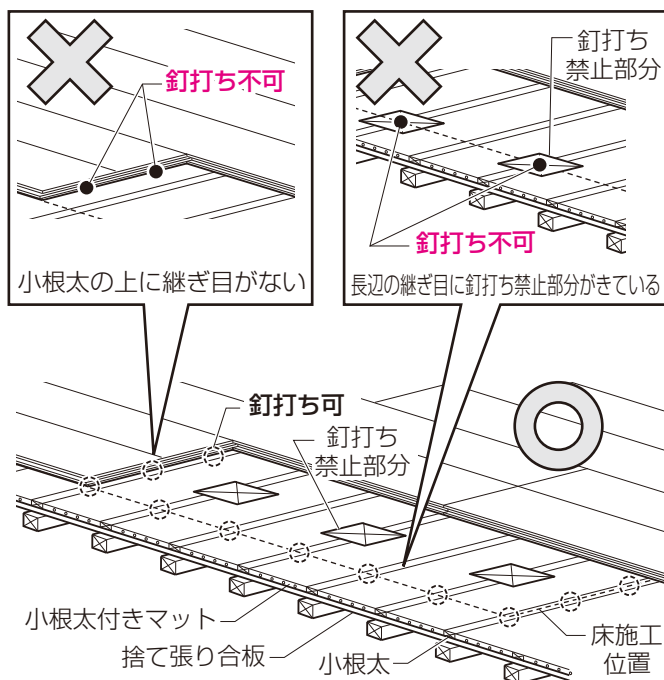
※303mmまたは606mmずらしのいずれかで割り付けしてください。

(目地半分ずらしにはなりません。)

※釘打ち禁止部分に床材の継ぎ目がこないように、あらかじめ割り付けしてください。

※小根太の間隔は1尺(303mm)が基本となります。

②P.3 2 床材の施工を参照して施工してください。



4 床施工後の取扱いについて

床施工後のお願い

- 床材を傷めたり変色、膨れ・反りを防ぐため、以下をおこなってください。
 - ・ゴミを取除きすき間なく養生シートを被せ専用の養生テープで固定してください。
 - ・床材をぬらさないでください。
- 損傷するため、固く絞ったぬれぞうきんでふいてから、乾いた布でふいてください。
- 抗菌性が発揮できなくなるため、ワックス等は塗布しないでください。
- F☆☆☆☆タイプですが、できるだけ換気をしてください。

ワックス等を塗布する際のお願い(基本塗布不要)

- お客様のご都合でワックスがけをされる場合は、指定ワックスをご使用ください。
指定ワックス：リンレイ社「ハイテクフローリングコート」
 - 膨れ・突上げとなるため、ワックスをまき塗りをしないでください。
 - 床材を傷めるため、ワックスはくり剤および溶剤は、使用しないでください。
- ※現場判断で対応した結果生じた不具合は全て免責となります。(指定ワックス以外のコーティング処理も含む)